
事務所等における温暖化対策実態調査

－ 結果報告書 －

平成 28 年 9 月

愛媛県

目次

第1章 『事務所等における温暖化対策実態調査』の概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 調査方法.....	2
5. 調査機関.....	2
6. 回収結果.....	2
第2章 『事務所等における温暖化対策実態調査』の結果の概要	3
第3章 『事務所等における温暖化対策実態調査』の結果	5
1. 事業所の業務形態等.....	5
2. 事業所におけるエネルギーの使用状況.....	8
3. 事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況.....	11
4. 事業所における省エネに関する取組状況.....	14
5. 地球温暖化に対する意識.....	16
6. 温室効果ガスの排出に対する意識.....	18
7. 環境保全資金融資の利用状況.....	21
8. これからの地球温暖化防止対策.....	23
参考資料	26
付属統計表.....	26
調査票.....	39

第1章 『事務所等における温暖化対策実態調査』の概要

1. 調査目的

本調査は、事務所等のエネルギー使用状況や省エネ設備・再生可能エネルギーの導入状況、省エネ行動の取組状況など温暖化対策の実態を把握し、今後、実効性のある温室効果ガス排出削減対策の企画・立案に生かすことを目的とした。

2. 調査対象

(1) 対象業種（日本標準産業分類・中分類）

地球温暖化対策への取組による効果を特に期待できる以下の業種を対象とした。

情報通信業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業・物品賃貸業、
学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、
生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉

(2) 対象外とする業種

対策が特殊、CO₂ 排出量が比較的少ない等の以下の業種を対象外とした。

農業、漁業、鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業、
電気・ガス・熱供給業・水道業、運輸・郵便業、複合サービス業、公務

(3) 対象事業所の範囲

- ①従業員が10人未満の小規模事業所については、その対策が家庭と同じとなること、及び調査の事務負担を考慮し、対象外とした。
- ②平成26年経済センサス・基礎調査をもとに、事業所数割合に応じ、調査対象業種ごとの標本数を決定した。

(4) 調査数

県内に本社がある正社員10名以上の企業及び本社が県外にあり正社員500名以上の企業の県内事業所をピックアップし、対象業種ごとの地域割合数（東予・中予・南予）に応じ、500事業所を任意に選定した。

3. 調査項目

- (1) 事業所の業務形態等について
- (2) 事業所におけるエネルギーの使用状況について
- (3) 事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況について
- (4) 事業所における省エネに関する取組状況について
- (5) 地球温暖化に対する意識について
- (6) 温室効果ガスの排出に対する意識について
- (7) 環境保全資金融資の利用状況について
- (8) これからの地球温暖化防止対策について

4. 調査方法

郵送配布及び郵送回収によるアンケート調査。

5. 調査機関

株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所

6. 回収結果

調査票発送件数	500事業所
有効回答数	193件（38.6%）

第2章 『事務所等における温暖化対策実態調査』の結果の概要

(1) 事業所の業務形態等について

- ・回答のあった事業所の所在地は、「中予地方」(53.9%)が大半を占める。
- ・事業所の業種は、「卸売業、小売業」(34.2%)が突出している。
- ・事業所の従業員数は、「50人未満」が全体の7割(72.0%)を占める。
- ・事業所の建物の所有形態は、「自己所有」(67.4%)が突出している。

(2) 事業所におけるエネルギーの使用状況について

- ・エネルギー使用量の把握状況は、「記録のみ」「記録していない」(ともに36.3%)と最も多くなっている。
- ・温室効果ガス排出量の把握状況は、「記録していない」(71.5%)が突出している。
- ・光熱水費の把握状況は、「記録のみ」(48.2%)が突出している。
- ・上記の項目のうち、エネルギー使用量と光熱水費については「改善目標を設定している」と回答した割合は2割程度となっている。
- ・事業所で消費するエネルギー使用量のここ数年での増減は、「あまり変化はない」(43.0%)が最も多く、「減っている」(35.8%)と回答した主な理由は、「省エネルギー活動に取り組んでいるため」(43.5%)となっている。

(3) 事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況について

- ・省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等の導入状況は、『既に導入している』と回答した割合は「⑧高効率照明」(51.3%)が最も多く、次いで「⑩ハイブリット車の購入」(38.3%)、「⑦省エネ型のオフィス機器」(32.1%)の順となっており、一方で『導入の予定なし』と回答した割合は「④小水力発電」(87.0%)が最も多く、次いで「③バイオマス発電設備」(85.0%)、「⑤コージェネレーション設備」(81.9%)の順となっている。
- ・今後、省エネ設備や機器を導入するために必要な支援や促進策は、「導入資金の負担を軽減する補助金・助成金制度」(75.1%)や「導入による効果やメリットなどの情報提供」(62.2%)が突出している。

(4) 事業所における省エネに関する取組状況について

- ・日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組み状況は、「②ノーネクタイ等の服装の自由化」(86.0%)や「①設定温度の適正化」(76.7%)や「⑥紙の使用量削減や再資源化」(72.0%)等は『実施している』が突出しており、一方で「⑫従業員のノーマイカー通勤制度の導入」(64.8%)や「⑨環境マネジメントシステムの導入」(43.5%)や「⑦温室効果ガスの排出抑制のための計画策定」(38.9%)等は『実施の予定なし』が多くなっている。

(5) 地球温暖化に対する意識について

- ・地球温暖化問題への関心の有無は、「どちらかといえば関心がある」(63.7%) が最も多く、「とても関心がある」(23.3%) と合わせると、『関心がある』と回答した事業所は全体の約9割(87.0%)を占める。
- ・事業活動における地球温暖化防止の取り組みに対する考えは、「事業者の社会的責任(CSR)の一つとして、取り組む必要がある」(58.5%) が突出している。
- ・事業所における地球温暖化に関する情報の入手先は、「テレビ・ラジオ」(66.3%) や「新聞」(63.7%) や「インターネット」(53.9%) が突出している。

(6) 温室効果ガスの排出に対する意識について

- ・我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加傾向であるということは、「知っていた」(81.9%) が大半を占める。
- ・我が国は2030年度までに2013年度比で26%削減、2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることは、「知らなかった」(53.4%) が半数以上となっている。
- ・業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030年度において2013年度比39.7%減の水準にすることは、「知らなかった」(77.2%) が大半を占める。
- ・国や愛媛県で「無料省エネ診断」を実施していることは、「知らなかった」(83.4%) が大半を占める。
- ・「無料省エネ診断」の実施意向は、「省エネ診断についての情報を得たうえで、検討したい」(50.8%) が大半を占める。

(7) 環境保全資金融資の利用状況について

- ・愛媛県で実施している環境保全に関する資金の融資制度のことは、「知らなかった」(79.8%) が大半を占める。
- ・愛媛県で実施している環境保全に関する資金の融資制度の利用有無は、「これまで利用したことはない」(96.9%) が大半を占める。
- ・愛媛県で実施している環境保全に関する資金の融資制度の今後の利用意向は、「利用したいと思わない」(59.9%) が大半を占める。

(8) これからの地球温暖化防止対策について

- ・地球温暖化防止対策として、愛媛県が重点的に力を入れていくべき施策は、「省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付」(41.5%) や「公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入」(39.9%) や「鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上(自動車からの転換)」(28.0%) が突出している。

第3章 『事務所等における温暖化対策実態調査』の結果

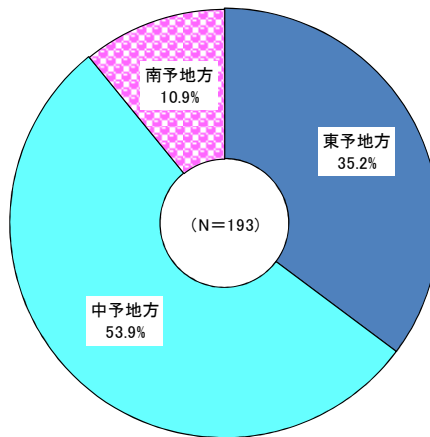
1. 事業所の業務形態等

(1) 事業所の所在地

問1 貴事業所の所在地は、次のうちどちらですか。（あてはまる番号1つに○）

事業所の所在地について、「中予地方」（53.9%）が最も多く、次いで「東予地方」（35.2%）、「南予地方」（10.9%）となっている。（図表1）

図表1 事業所の所在地



(2) 事業所の業種

問2 貴事業所の業種は、次のうちどちらですか。（あてはまる番号1つに○）

事業所の業種について、「卸売業、小売業」（34.2%）が最も多く、次いで「その他」（12.4%）、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」（ともに11.4%）などとなっている。（図表2）

図表2 事業所の業種

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	193 件
(1) 情報通信業	1.0	2 件
(2) 卸売業、小売業	34.2	66 件
(3) 金融業、保険業	3.6	7 件
(4) 不動産業、物品賃貸業	3.6	7 件
(5) 学術研究、専門・技術サービス業	6.2	12 件
(6) 宿泊業、飲食サービス業	11.4	22 件
(7) 生活関連サービス業、娯楽業	11.4	22 件
(8) 教育、学習支援業	5.2	10 件
(9) 医療、福祉	10.9	21 件
(10) その他	12.4	24 件
無回答	0.0	- 件

グラフ単位：(%)

(3) 事業所の従業員数

問3 貴事業所の従業員数は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

事業所の従業員数について、「30～49人」(20.7%)が最も多く、次いで「10人以下」(20.2%)、「10～19人」(16.1%)などとなっている。(図表3)

図表3 事業所の従業員数

		回答数
全体	100.0	193件
(1) 10人以下	20.2	39件
(2) 10～19人	16.1	31件
(3) 20～29人	15.0	29件
(4) 30～49人	20.7	40件
(5) 50～99人	10.9	21件
(6) 100～199人	4.1	8件
(7) 200～299人	6.7	13件
(8) 300人以上	4.1	8件
無回答	2.1	4件

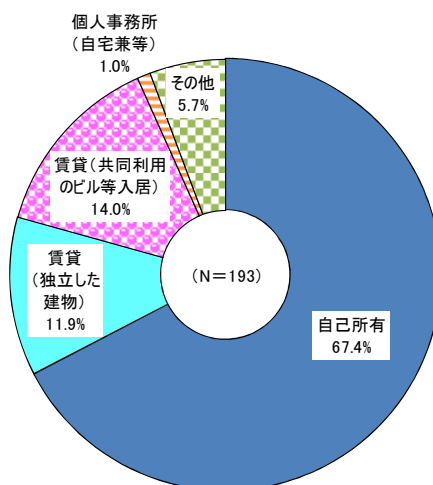
グラフ単位: (%)

(4) 事業所の建物の所有形態

問4 貴事業所の建物の所有形態は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

事業所の建物の所有形態について、「自己所有」(67.4%)が最も多く、次いで「賃貸(共同利用のビル等入居)」(14.0%)、「賃貸(独立した建物)」(11.9%)などとなっている。(図表4)

図表4 事業所の建物の所有形態

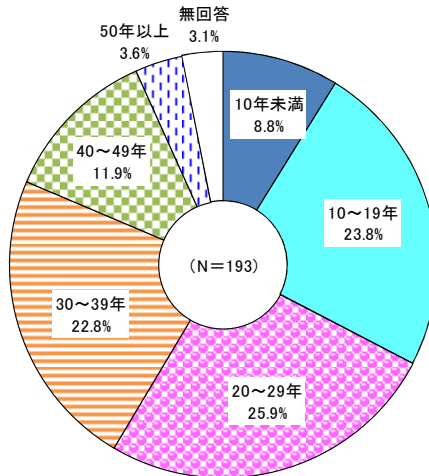


(5) 事業所の建物の築年数

問5 貴事業所の建物の築年数は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

事業所の建物の築年数について、「20～29年」(25.9%)が最も多く、次いで「10～19年」(23.8%)、「30～39年」(22.8%)などとなっている。(図表5)

図表5 事業所の建物の築年数



(6) 事業所の建物の延べ床面積

問6 貴事業所の建物の延べ床面積（事業所全体）は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

事業所の建物の延べ床面積について、「100～499 m²」(23.3%)が最も多く、次いで「1,000～1,999 m²」(14.5%)、「500～999 m²」(13.5%)などとなっている。(図表6)

図表6 事業所の建物の延べ床面積

延べ床面積	割合 (%)	回答数
全体	100.0	193 件
(1) 100m ² 未満	6.7	13 件
(2) 100～499m ²	23.3	45 件
(3) 500～999m ²	13.5	26 件
(4) 1,000～1,999m ²	14.5	28 件
(5) 2,000～2,999m ²	9.3	18 件
(6) 3,000～4,999m ²	10.4	20 件
(7) 5,000～10,000m ²	10.9	21 件
(8) 10,000m ² 以上	6.7	13 件
無回答	4.7	9 件

グラフ単位：(%)

2. 事業所におけるエネルギーの使用状況

(1) 事業所の事業活動に伴い使用した平成27年度のエネルギー使用量

問7 貴事業所の事業活動に伴い使用した、平成27年度(2015年度)のエネルギー使用量を記入して下さい。(それぞれ数字を記入)

事業所の事業活動に伴い使用した平成27年度のエネルギー使用量について、平均では【①電気】は798,133kWh、【②都市ガス】は55,743m³、【③液化石油ガス】は31,647m³、【④ガソリン】は28,622ℓ、【⑤軽油】は21,819ℓ、【⑥灯油】は6,804ℓ、【⑦重油】は167,449ℓとなっている。

図表7 事業所の事業活動に伴い使用した平成27年度のエネルギー使用量

回答数	
全体	100.0
(1) 1,000kwh以下	0.0
(2) 1,001~5,000kwh	4.7
(3) 5,001~10,000kwh	4.0
(4) 10,001~50,000kwh	22.0
(5) 50,001~100,000kwh	14.0
(6) 100,001~500,000kwh	27.3
(7) 500,001~1,000,000kwh	8.0
(8) 1,000,001~5,000,000kwh	16.7
(9) 5,000,001~10,000,000kwh	2.0
(10) 10,000,001kwh以上	1.3

グラフ単位：(%)

回答数	
全体	100.0
(1) 100m ³ 以下	17.4
(2) 101~1,000m ³	4.3
(3) 1,001~3,000m ³	17.4
(4) 3,001~5,000m ³	0.0
(5) 5,001~10,000m ³	13.0
(6) 10,001~50,000m ³	26.1
(7) 50,001~100,000m ³	13.0
(8) 100,001m ³ 以上	8.7

グラフ単位：(%)

回答数	
全体	100.0
(1) 100m ³ 以下	27.1
(2) 101~1,000m ³	16.9
(3) 1,001~3,000m ³	15.3
(4) 3,001~5,000m ³	6.8
(5) 5,001~10,000m ³	10.2
(6) 10,001~50,000m ³	16.9
(7) 50,001~100,000m ³	3.4
(8) 100,001m ³ 以上	3.4

グラフ単位：(%)

回答数	
全体	100.0
(1) 100ℓ以下	18.2
(2) 101~1,000ℓ	9.1
(3) 1,001~3,000ℓ	9.1
(4) 3,001~5,000ℓ	4.5
(5) 5,001~10,000ℓ	9.1
(6) 10,001~50,000ℓ	45.5
(7) 50,001~100,000ℓ	0.0
(8) 100,001ℓ以上	4.5

グラフ単位：(%)

回答数	
全体	100.0
(1) 100ℓ以下	11.1
(2) 101~1,000ℓ	11.1
(3) 1,001~3,000ℓ	16.7
(4) 3,001~5,000ℓ	0.0
(5) 5,001~10,000ℓ	27.8
(6) 10,001~50,000ℓ	22.2
(7) 50,001~100,000ℓ	5.6
(8) 100,001ℓ以上	5.6

グラフ単位：(%)

回答数	
全体	100.0
(1) 100ℓ以下	26.5
(2) 101~1,000ℓ	20.6
(3) 1,001~3,000ℓ	32.4
(4) 3,001~5,000ℓ	2.9
(5) 5,001~10,000ℓ	2.9
(6) 10,001~50,000ℓ	8.8
(7) 50,001~100,000ℓ	5.9
(8) 100,001ℓ以上	0.0

グラフ単位：(%)

回答数	
全体	100.0
(1) 100ℓ以下	0.0
(2) 101~1,000ℓ	3.6
(3) 1,001~3,000ℓ	3.6
(4) 3,001~5,000ℓ	0.0
(5) 5,001~10,000ℓ	10.7
(6) 10,001~50,000ℓ	32.1
(7) 50,001~100,000ℓ	21.4
(8) 100,001ℓ以上	28.6

グラフ単位：(%)

(2) 事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量、光熱水費の把握状況

問8 貴事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量（CO2 のみでも可）、光熱水費の把握状況についてお答えください。（あてはまる番号1つに ○）

事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量、光熱水費の把握状況について、『定期的に記録し改善目標を設定』とする回答は「①エネルギー使用量」「③光熱水費」（ともに 20.2%）となっており、一方、『記録していない』とする回答は「②温室効果ガス排出量」（71.5%）が最も多く、『①エネルギー使用量』（36.3%）、『③光熱水費』（25.4%）となっている。（図表 8）

図表 8 事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量、光熱水費の把握状況

	(1) 定期 改善 目標 を記 録し 設定し	(2) 記 録 の み	(3) 記 録 し て い な い	無 回 答	
凡例					回答数
①エネルギー使用量	20.2	36.3	36.3	7.3	193 件
②温室効果ガス排出量	6.7	11.9	71.5	9.8	193 件
③光熱水費	20.2	48.2	25.4	6.2	193 件

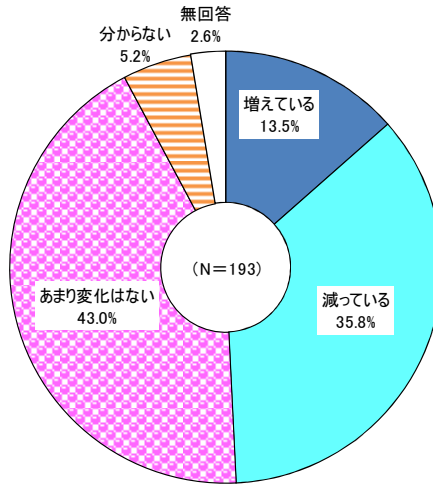
グラフ単位：(%)

(3) 事業所で消費するエネルギー使用量のここ数年での増減の有無

問9 貴事業所で消費するエネルギー（電力・ガス・灯油、自動車のガソリン等）の使用量は、ここ数年間で、増えていますか。それとも減っていますか。（あてはまる番号1つに ○）

事業所で消費するエネルギー使用量のここ数年での増減の有無について、「あまり変化はない」(43.0%) が最も多く、次いで「減っている」(35.8%)、「増えている」(13.5%) などとなっている。（図表 9.1）

図表 9.1 事業所で消費するエネルギー使用量のここ数年での増減の有無



(4) エネルギー使用量が変化した主な理由

問9 また、「1 増えている」または「2 減っている」と回答された場合は、エネルギー使用量が変化した主な理由を下表の1～7の中からお答えください。（あてはまる番号1つに ○）

エネルギー使用量が変化した主な理由について、『増えている』主な理由は「社員数が変わったため」(38.5%)、『減っている』主な理由は「省エネルギー活動に取り組んでいるため」(43.5%) がそれぞれ最も多くなっている。（図表 9.2）

図表 9.2 エネルギー使用量が変化した主な理由

理由	割合 (%)		回答数
	増えている	減っている	
全体	100.0	100.0	26 件 69 件
(1) 社員数が変わったため	38.5	4.3	10 件 3 件
(2) 事業内容が変わったため	7.7	4.3	2 件 3 件
(3) 生産量の変動など事業活動の量が変わったため	23.1	5.8	6 件 4 件
(4) エネルギーを使用する機器や設備(事業用生産機器等)を新たに購入、更新したため	19.2	33.3	5 件 23 件
(5) 省エネルギー活動に取り組んでいる(いない)ため	0.0	43.5	- 件 30 件
(6) 変化した理由はわからない	0.0	0.0	- 件 - 件
(7) その他	11.5	5.8	3 件 4 件
無回答	0.0	2.9	- 件 2 件

グラフ単位: (%)

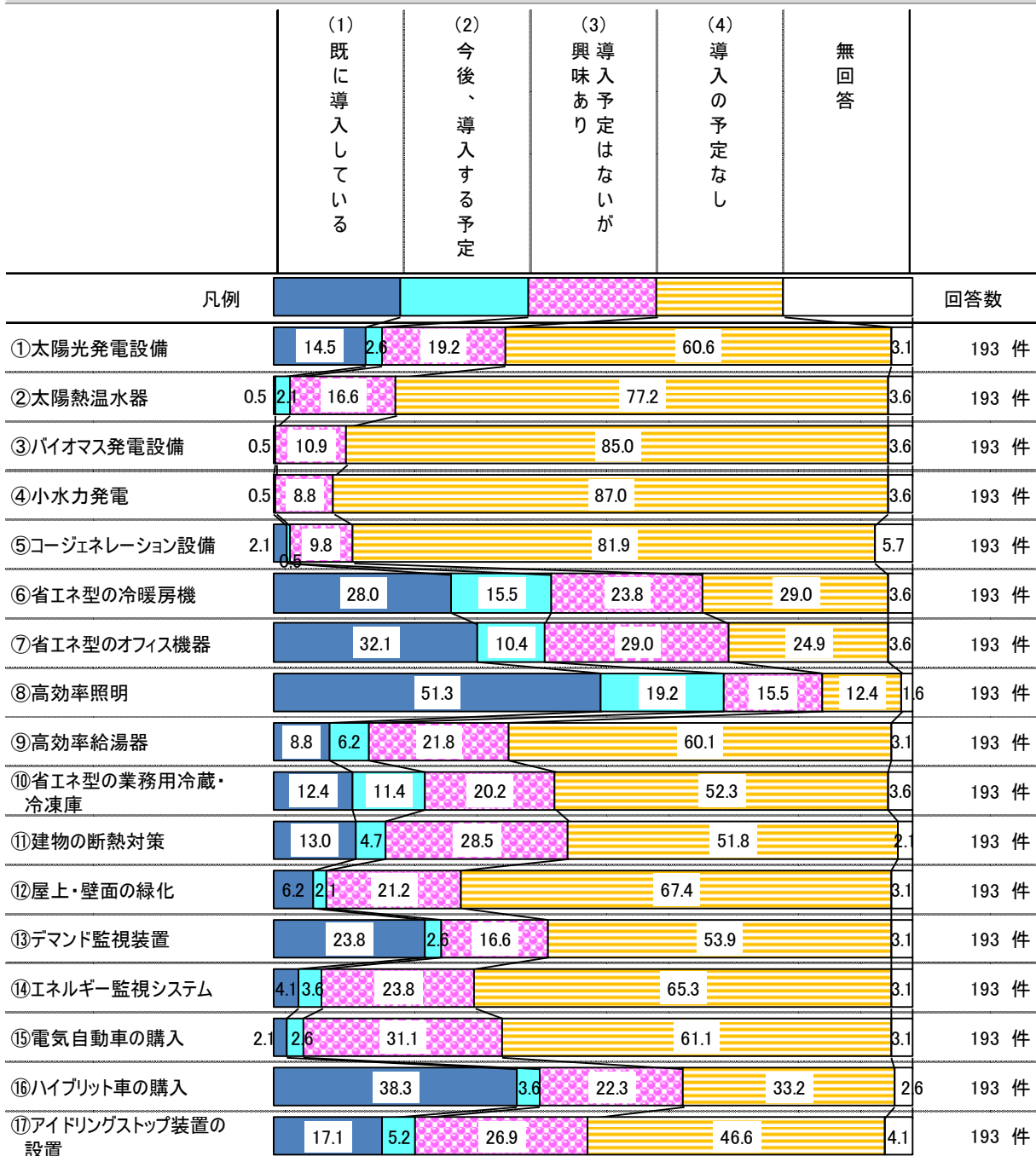
3. 事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況

(1) 省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等の導入の有無

問10 貴事業所では、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに ○を付けて下さい。

省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等の導入の有無について、『既に導入している』では、「⑧高効率照明」(51.3%)が最も多く、次いで「⑩ハイブリット車の購入」(38.3%)、「⑦省エネ型のオフィス機器」(32.1%)などとなっており、『導入予定はないが、興味あり』では、『⑮電気自動車の購入』(31.1%)が比較的多くなっている。(図表 10.1)

図表 10.1 省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等を導入の有無



グラフ単位：(%)

(2)省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等の導入の予定がない理由

問10 また、「導入の予定なし」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～7の中から1つ選んで、番号を記入して下さい。

導入の予定がない主な理由について、いずれの設備も「費用負担が大きい」「必要性を感じない」「業務に不要」などが多く挙げられた。(図表 10.2)

図表 10.2 省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等の導入の予定がない理由

	(1) 費用 負担が 大きい	(2) 効果 に 疑問 がある	(3) た 設置 場所 の 条件 を 満 た さ な い	(4) が 設 備 等 に 関 する 情 報 が な い	(5) 必 要 性 を 感 じ な い	(6) 業 務 に 不 要	(7) そ の 他	無 回 答	
凡例									回答数
①太陽光発電設備	30.8	4.3	17.9	2.6	10.3	17.1	8.5	8.5	117 件
②太陽熱温水器	23.5	2.7	9.4	3.4	20.1	22.1	9.4	9.4	149 件
③バイオマス発電設備	18.3	2.4	9.1	9.8	18.9	22.6	9.8	9.1	164 件
④小水力発電	16.7	2.4	11.9	7.1	19.0	24.4	10.1	8.3	168 件
⑤コージェネレーション設備	19.0	1.3	11.4	6.3	18.4	24.7	10.8	8.2	158 件
⑥省エネ型の冷暖房機	26.8	5.4	5.4	7.1	12.5	10.7	23.2	8.9	56 件
⑦省エネ型のオフィス機器	29.2	8.3	2.1	10.4	14.6	12.5	14.6	8.3	48 件
⑧高効率照明	29.2	8.3	8.3	4.2	4.2	8.3	25.0	12.5	24 件
⑨高効率給湯器	13.8	1.7	7.8	7.8	20.7	30.2	9.5	8.6	116 件
⑩省エネ型の業務用冷蔵・冷凍庫	15.8	2.0	3.0	4.0	19.8	39.6	8.9	6.9	101 件
⑪建物の断熱対策	29.0	3.0	7.0	6.0	16.0	13.0	17.0	9.0	100 件
⑫屋上・壁面の緑化	14.6	6.9	18.5	4.6	20.0	10.0	15.4	10.0	130 件
⑬デマンド監視装置	17.3	4.8	4.8	9.6	23.1	19.2	11.5	9.6	104 件
⑭エネルギー監視システム	24.6	4.0	5.6	7.9	21.4	16.7	11.1	8.7	126 件
⑮電気自動車の購入	36.4	3.4	1.7	3.4	16.1	18.6	11.0	9.3	118 件
⑯ハイブリット車の購入	31.3	1.6	1.6	3.1	17.2	29.7	9.4	6.3	64 件
⑰アイドリングストップ装置の設置	27.8	4.4	2.2	4.4	18.9	22.2	12.2	7.8	90 件

グラフ単位：(%)

(3) 今後、省エネ設備や機器を導入するために必要な支援や促進策

問11 今後、上記の省エネ設備や機器を導入するためにはどのような支援が必要と思いますか。また、導入を促進するためには何が必要だと考えますか。(あてはまる番号に3つまで○)

今後、省エネ設備や機器を導入するためにはどのような支援や促進が必要だと思うかについて、「導入資金の負担を軽減する補助金・助成金制度」(75.1%)が最も多く、次いで「導入による効果やメリットなどの情報提供」(62.2%)、「専門家による省エネ診断制度や設備買い換え等の相談システム」(28.5%)などとなっている。(図表11)

図表11 今後、省エネ設備や機器を導入するために必要な支援や促進策

		回答数
全体	100.0	193 件
(1) 導入による効果やメリットなどの情報提供	62.2	120 件
(2) 専門家による省エネ診断制度や設備買い換え等の相談システム	28.5	55 件
(3) 導入資金の負担を軽減する補助金・助成金制度	75.1	145 件
(4) 導入資金への融資制度	13.5	26 件
(5) 導入設備等のリースやレンタル制度	22.3	43 件
(6) その他	2.1	4 件
無回答	4.1	8 件

グラフ単位: (%)

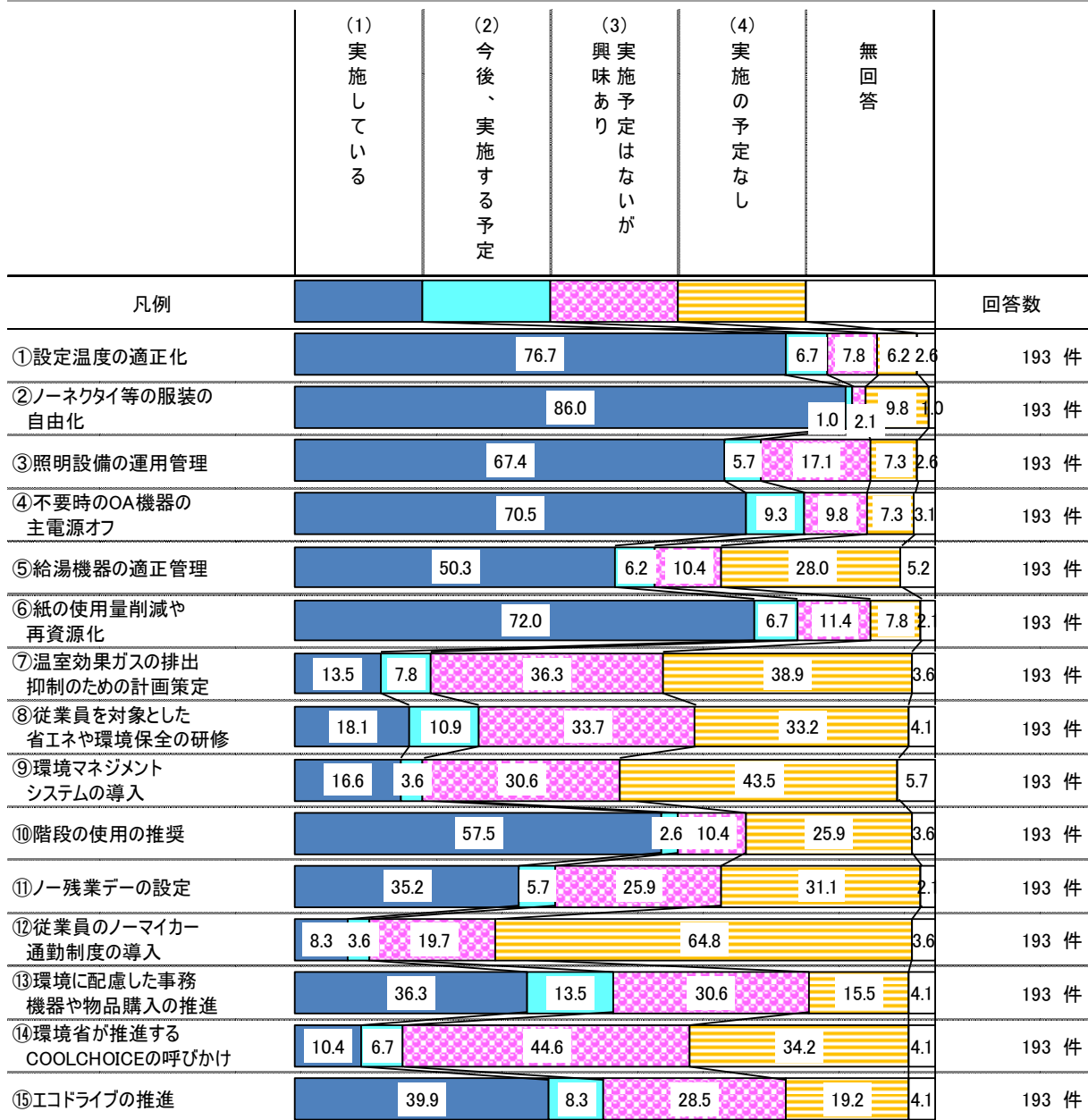
4. 事業所における省エネに関する取組状況

(1) 日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みの有無

問12 貴事業所では、日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに ○を付けて下さい。

事業所では、日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みの有無について、『実施している』の回答率が70%以上の取り組みは、「②ノーネクタイ等の服装の自由化」(86.0%)が最も多く、次いで「①設定温度の適正化」(76.7%)、「⑥紙の使用量削減や再資源化」(72.0%)、「④不要時のOA機器の主電源オフ」(70.5%)となっており、一方で、『実施の予定なし』の回答率が40%以上の取り組みは、『⑫従業員のノーマイカー通勤制度の導入』(64.8%)が最も多く、次いで『⑨環境マネジメントシステムの導入』(43.5%)となっている。(図表12.1)

図表 12.1 日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みの有無



グラフ単位: (%)

(2) 実施の予定がない主な理由

問12 また、「実施の予定なし」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～5の中から1つ選んで、番号を記入して下さい。

実施の予定がない主な理由について、いずれの取り組みも「必要性を感じない」や「その他」の回答が多く、一方で、『⑧従業員を対象とした省エネや環境保全の研修』では「人員・時間が確保できない」(35.9%)が最も多かった。(図表 12.2)

図表 12.2 実施の予定がない主な理由

	(1) 人員・ 時間が 確保で きない	(2) 効果に 疑問が ある	(3) 設置場 所の条 件を満 たさない	(4) 必要 性を感 じない	(5) 費用が かかる	(6) その他	無 回 答		
凡例								回答数	
①設定温度の適正化	16.7	16.7			58.3		8.3	12 件	
②ノーネクタイ等の服装の自由化	10.5	5.3	5.3	31.6		47.4		19 件	
③照明設備の運用管理	28.6		14.3		35.7	14.3	7.1	14 件	
④不要時のOA機器の主電源オフ	14.3	14.3	7.1	14.3		35.7	14.3	14 件	
⑤給湯機器の適正管理	5.6	5.6	7.4	38.9	1.9	31.5	9.3	54 件	
⑥紙の使用量削減や再資源化	13.3	6.7	20.0	6.7		40.0	13.3	15 件	
⑦温室効果ガスの排出抑制のための計画策定	22.7	5.3	1.3	22.7	2.7	32.0	13.3	75 件	
⑧従業員を対象とした省エネや環境保全の研修		35.9		10.9	15.6	3.1	25.0	9.4	64 件
⑨環境マネジメントシステムの導入	15.5	9.5		28.6	10.7	23.8	11.9	84 件	
⑩階段の使用の推奨	4.0	4.0	20.0		30.0		34.0	8.0	50 件
⑪ノー残業デーの設定	15.0	10.0	5.0		31.7		25.0	13.3	60 件
⑫従業員のノーマイカー通勤制度の導入	9.6	8.0	8.0		18.4	2.4	46.4	7.2	125 件
⑬環境に配慮した事務機器や物品購入の推進	6.7	10.0		26.7	20.0		23.3	13.3	30 件
⑭環境省が推進するCOOLCHOICEの呼びかけ	6.1	9.1		28.8		42.4		13.6	66 件
⑮エコドライブの推進	8.1	5.4		27.0		45.9		13.5	37 件

グラフ単位:(%)

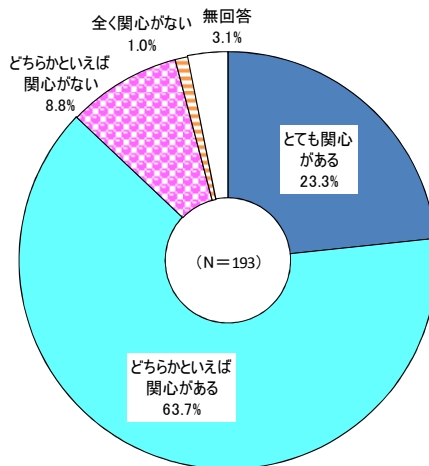
5. 地球温暖化に対する意識

(1) 地球温暖化問題について、どのくらい関心を持っているか

問13 地球温暖化問題について、どのくらい関心をお持ちですか。貴事業所の考えに最も近いものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

地球温暖化問題について、どのくらい関心を持っているかについて、「どちらかといえば関心がある」(63.7%)が最も多く、次いで「とても関心がある」(23.3%)、「どちらかといえば関心がない」(8.8%)などとなっている。(図表13)

図表13 地球温暖化問題について、どのくらい関心を持っているか



(2) 事業活動における地球温暖化防止の取り組みについて、事務所の考えに最も近いもの

問14 事業活動における地球温暖化防止の取り組みについて、貴事業所の考えに最も近いものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

事業活動における地球温暖化防止の取り組みに関する事務所の考えについて、「事業者の社会的責任(CSR)の一つとして、取り組む必要がある」(58.5%)が最も多くなっている。(図表14)

図表14 事業活動における地球温暖化防止の取り組みに関する事務所の考え

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	193 件
(1) 事業者の社会的責任(CSR)の一つとして、取り組む必要がある	58.5	113 件
(2) 温暖化の影響は今後の業績に関連する要素であるため、取り組む必要がある	10.4	20 件
(3) 消費者からの好意度など会社のイメージ向上のため、取り組む必要がある	5.2	10 件
(4) 新たな事業活動の展開(ビジネス分野の開拓)のため、取り組む必要がある	2.6	5 件
(5) 本社(親会社)からの指示、同業者間の取り決めのため、取り組む必要がある	5.2	10 件
(6) 法令で要求されているので、取り組まざるを得ない	1.6	3 件
(7) 必要ではあるが、資金を投入してまで取り組む必要はない	11.4	22 件
(8) 特に取り組む必要はない	0.5	1 件
(9) その他	2.6	5 件
無回答	2.1	4 件

グラフ単位: (%)

(3) 事業所では、地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ているか

問15 貴事業所では、地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

事業所における地球温暖化に関する情報の入手先について、「テレビ・ラジオ」(66.3%)が最も多く、次いで「新聞」(63.7%)、「インターネット」(53.9%)などとなっている。(図表15)

図表15 事業所における地球温暖化に関する情報の入手先

	回答数
全体	193 件
(1) テレビ・ラジオ	128 件
(2) 新聞	123 件
(3) 雑誌・書籍	40 件
(4) インターネット	104 件
(5) 業界・同業種での会合や会報	47 件
(6) 講演・研修	26 件
(7) 行政の広報	57 件
(8) その他	5 件
無回答	2 件

グラフ単位：(%)

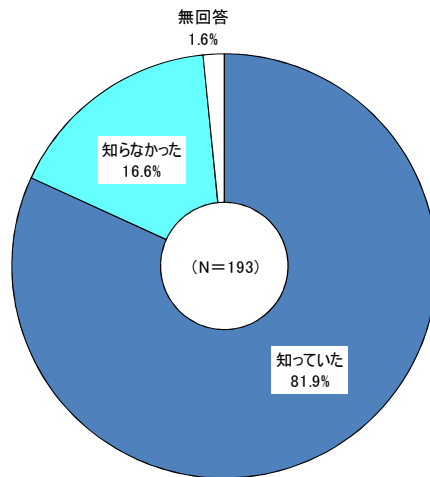
6. 温室効果ガスの排出に対する意識

(1) 我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加していることを知っているか

問16 我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加していることを知っているかについて、「知っていた」(81.9%)、「知らなかった」(16.6%)となっている。(図表16)

図表16 我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加していることを知っているか

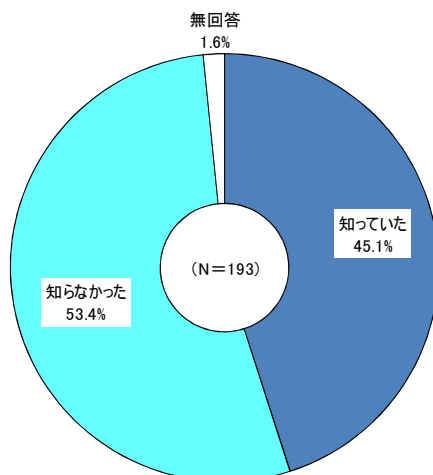


(2) 温室効果ガス削減目標について2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることを知っているか

問17 温室効果ガス削減目標について、我が国は2030年度までに2013年度比で26%削減、2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

温室効果ガス削減目標について2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることを知っているかについて、「知っていた」(45.1%)、「知らなかった」(53.4%)となっている。(図表17)

図表17 2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることを知っているか

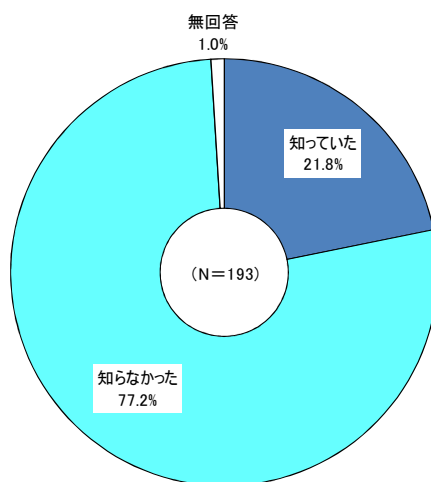


(3) 業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030 年度において 2013 年度比 39.7%減の水準にすることを知っているか

問18 業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030年度において2013年度比39.7%減の水準にすることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030 年度において 2013 年度比 39.7%減の水準にすることを知っているかについて、「知っていた」(21.8%)、「知らなかった」(77.2%) となっている。(図表 18)

図表 18 業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030 年度において 2013 年度比 39.7%減の水準にすることを知っているか



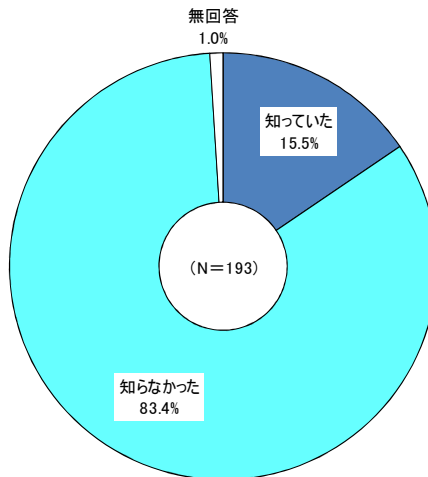
(4) 無料省エネ診断を知っているか

問19 国や愛媛県では、エネルギー使用量やエネルギー消費機器、機器毎の使用傾向などを調査・分析し、分析結果に基づき具体的な省エネルギー手法およびエネルギー、CO2、光熱水費の削減効果などの提案が受けられる「無料省エネ診断」を実施していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

無料省エネ診断について、「知っていた」(15.5%)、「知らなかった」(83.4%)となっている。

(図表19)

図表19 無料省エネ診断を知っているか

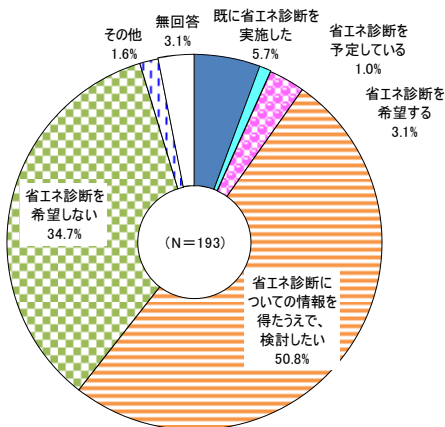


(5) 無料省エネ診断を実施したいと思うか

問20 「無料省エネ診断」を実施したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

無料省エネ診断を実施したいと思うかについて、「省エネ診断についての情報を得たうえで、検討したい」(50.8%)が最も多く、次いで「省エネ診断を希望しない」(34.7%)、「既に省エネ診断を実施した」(5.7%)などとなっている。(図表20)

図表20 無料省エネ診断を実施したいと思うか



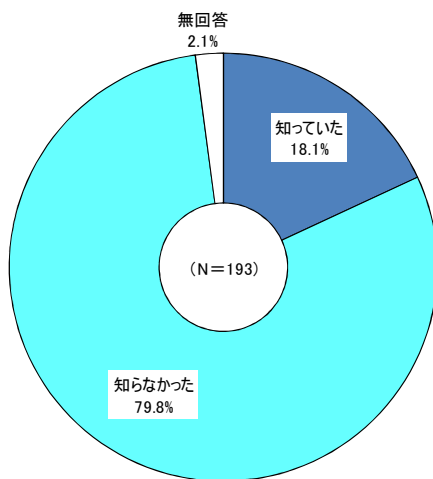
7. 環境保全資金融資の利用状況

(1) 愛媛県では、環境保全に関する資金を低利で融資しているが、制度のことを知っているか

問21 愛媛県では、中小企業者や中小企業団体を対象として、環境保全に関する資金を低利で融資していますが、制度のことをご存知ですか。（あてはまる番号1つに○）

愛媛県では、環境保全に関する資金を低利で融資しているが、制度のことを知っているかについて、「知っていた」（18.1%）、「知らなかった」（79.8%）となっている。（図表21）

図表21 愛媛県では、環境保全に関する資金を低利で融資しているが、制度のことを知っているか

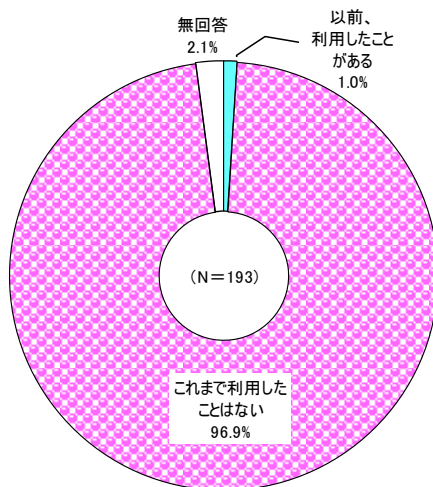


(2) 愛媛県の環境保全資金について、利用したことがあるか

問22 愛媛県の環境保全資金を利用したことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

愛媛県の環境保全資金について、利用したことがあるかについて、「これまで利用したことはない」（96.9%）が大半を占めている。（図表22）

図表22 愛媛県の環境保全資金について、利用したことがあるか

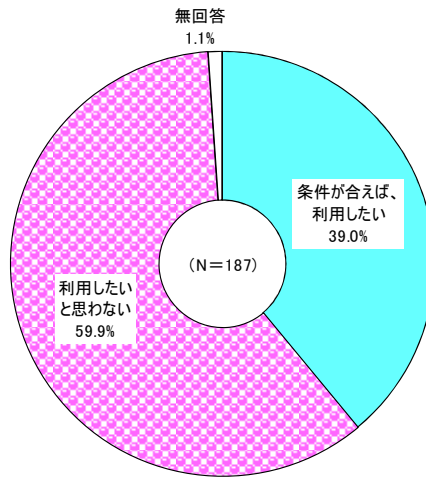


(3) 今後、利用したいと思うか

問23 問22で「3 これまで利用したことはない」と答えた人にお聞きます。今後、利用したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

今後、利用したいと思うかについて、「利用したいと思わない」(59.9%)が最も多く、次いで「条件が合えば、利用したい」(39.0%)などとなっている。(図表 23.1)

図表 23.1 今後、利用したいと思うか



(4) 利用したいと思わない主な理由

問23 また、「3 利用したいと思わない」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～7の中から1つ選んでお答えください。(あてはまる番号1つに○)

利用したいと思わない主な理由について、「特に理由はない」(25.0%)が最も多く、次いで「借り入れてまで事業する必要はないため」(24.1%)、「融資の対象外のため」(17.0%)などとなっている。(図表 23.2)

図表 23.2 利用したいと思わない主な理由

理由	割合 (%)	回答数
全体	100.0	112 件
(1) 融資の対象外のため	17.0	19 件
(2) 貸付限度額の設定額では足りないため	1.8	2 件
(3) 貸付利率が高いため	10.7	12 件
(4) 貸付期間が短いため	0.0	- 件
(5) 借り入れてまで事業する必要はないため	24.1	27 件
(6) 特に理由はない	25.0	28 件
(7) その他	12.5	14 件
無回答	8.9	10 件

グラフ単位: (%)

8. これからの地球温暖化防止対策

(1) 地球温暖化防止対策として、愛媛県はこれからどのような施策に力を入れていくべきだと思うか

問24 地球温暖化防止対策として、愛媛県ではこれからどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から、特に重点を置くべきと貴事業所が思うものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号3つまで○)

地球温暖化防止対策として、愛媛県はこれからどのような施策に力を入れていくべきだと思うかについて、「省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付」(41.5%)が最も多く、次いで「公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入」(39.9%)、「鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上(自動車からの転換)」(28.0%)などとなっている。(図表24)

図表24 地球温暖化防止対策として、愛媛県はこれからどのような施策に力を入れていくべきだと思うか

	割合	回答数
全体	100.0	193件
(1) 公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入	39.9	77件
(2) 県民、企業に対する自然エネルギー普及の積極的なPR	18.1	35件
(3) 省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付	41.5	80件
(4) 断熱や夏の日射遮蔽など省エネ性能の高い省エネルギー住宅の普及促進	14.0	27件
(5) 地球温暖化に関する県民向けの情報提供や広報活動の推進	18.1	35件
(6) 学校や地域などで地球温暖化や省エネの方法に関する環境教育・環境学習の充実	21.2	41件
(7) 県民、団体などが行う地球温暖化防止活動への支援	6.2	12件
(8) 自転車で走りやすい環境の整備	13.0	25件
(9) 鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上(自動車からの転換)	28.0	54件
(10) 二酸化炭素を吸収する森林の管理と育成の促進	15.0	29件
(11) 市街地の緑化の促進	13.0	25件
(12) ごみの減量化やリサイクルの推進	21.8	42件
(13) 次世代自動車(電気自動車・燃料電池自動車・プラグインハイブリット自動車)の普及促進	18.7	36件
(14) バイオマスの利活用促進	2.1	4件
(15) その他	1.6	3件
無回答	1.0	2件

グラフ単位：(%)

(5) 地球温暖化防止に向けて独自に取り組んでいること、事業所での地球温暖化防止に効果のある取り組みについての提案

問25 貴事業所において、地球温暖化防止に向けて独自に取り組んでいることがあれば記入してください。また、事業所における地球温暖化防止対策について、愛媛県に対し、ご意見ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

地球温暖化防止に向けて独自に取り組んでいること、事業所での地球温暖化防止に効果のある取り組みについての提案について、30件の回答があり、主な意見は以下のとおりとなっている。

- 社内で回覧できるチラシ（啓蒙用に）頂けるものがあれば活用させて頂きたい。節電、温水はなるべく使わないようにしようという意識の高低は個人差が大きく、日常は通常業務に追われる為、温暖化教育まで手が回っておらず、気軽に取り組めるところからのスタートになるのが現状である。（東予地方／卸売業、小売業）
- 生鮮食品を扱っているため、日々商品の廃棄が出来ないように、極力売り切るようにしている。また、一部売り場では電気のLED化やソーラー発電の導入をしており、少しでも節電の役に立てばと思っている。（東予地方／卸売業、小売業）
- CO2排出量削減のため、空調設備の電化、給湯設備向けエネルギー源の転換（A重油→LPG）、LED照明器具への更新を進めている。（東予地方／学術研究、専門・技術サービス業）
- 日ごろより3Rについての話を朝礼等で行っている。（東予地方／教育、学習支援業）
- 会社としては、最終的に良いか悪いかより、損か得かを優先して決断する事が多い。照明をLEDに変え、省エネ仕様の物に変えた時も、補助金対象ということで最終決断を行った。やはり営利企業においては、会社内利益を優先的に考えている。（東予地方／教育、学習支援業）
- 補助金は出なかったが、空調設備（エアコン）を5機と、工場内の照明器具（蛍光灯）130本を購入した。（東予地方／その他）
- 小さい事業所なので、省エネ機器などの導入は考えていないが、冷暖房の設定温度やPCの電源OFF、用紙の裏紙を使用するなど小さなエコは実施している。（中予地方／情報通信業）
- グリーンカーテンの敷設やノー残業デーの実施、営業職のノーネクタイ（5月～10月）、総務部門と訪問看護部門のポロシャツ着用（5月～10月）を行っている。（中予地方／卸売業、小売業）
- バイオディーゼル事業を行い、廃食用油のリサイクルを進めている。（中予地方／卸売業、小売業）

- 当社グループはすべての事業活動で発生するエネルギー使用量（電気・軽油・ガソリン等）を把握するとともに、環境マネジメントシステムを活用し低減すべく取り組んでいる。（中予地方／卸売業、小売業）

- 県毎の排出量が不明の為、重点施策に上げるべきか疑問である。愛媛県で進めた場合、（排出量分を日本が買い、一方売っている国もある）県内でも東予の工業地帯と他は条件が異なる。（中予地方／宿泊業、飲食サービス業）

- 当事業所では、現在太陽光発電事業を行っている。規模は1.43メガである。ゴルフクラブでは、松の育成・管理に年間多額の経費を費やしている。元来、ゴルフ場は樹木や芝生の育成・管理を行う事業であり、地球温暖化防止事業そのものである。こういう重要な事業を行っているゴルフ場に対して、固定資産税を減免する行政措置をお願いしたい。（中予地方／生活関連サービス業、娯楽業）

- 企業は可処分所得の中で設備投資額を決めている。環境設備は、費用はかかるが効果（売上げ）に直結することはまず難しいため、資金に余裕が無ければ投資出来ない。一般的な補助や助成ではなく、県内企業が積極的に設備投資できる環境づくりをお願いしたいところである。仮に環境設備導入が義務化されても、零細企業は無い袖は振れない。（南予地方／学術研究、専門・技術サービス業）

- 次世代自動車の普及促進のため、電気自動車を購入し、地域に対しても推進している。また、そのための電気スタンドの設置を検討している。（南予地方／医療、福祉）

参考資料

付属統計表

1. 貴事務所の業務形態等について、おたずねします。

図1 貴事業所の所在地は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

	(1)	(2)	(3)		
	全体	東予地方(今治市・新居浜市・西条市・四国中央市・上島町)	中予地方(松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町)	南予地方(宇和島市・八幡浜市・鬼北町・愛南町)	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)					
全体	193 100.0	68 35.2	104 53.9	21 10.9	-

図2 貴事業所の業種は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)		
	全体	情報通信業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)												
全体	193 100.0	2 1.0	66 34.2	7 3.6	7 3.6	12 6.2	22 11.4	22 11.4	10 5.2	21 10.9	24 12.4	-

図3 貴事業所の従業員数は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		
	全体	10人以下	11~20人	21~30人	31~40人	41~50人	51~99人	100人以上	無回答	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)										
全体	193 100.0	39 20.2	31 16.1	29 15.0	40 20.7	21 10.9	8 4.1	13 6.7	8 4.1	4 2.1

1. 貴事務所の業務形態等について、おたずねします。

問4 貴事業所の建物の所有形態は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
	全体	自己所有	賃貸 (独立した建物)	賃貸 (共同利用のビル等入居)	個人事務所 (自宅兼等)	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)							
全体	193 100.0	130 67.4	23 11.9	27 14.0	2 1.0	11 5.7	- -

問5 貴事業所の建物の築年数は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
	全体	10年未満	10年～19年	20年～29年	30年～39年	40年～49年	50年以上	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)								
全体	193 100.0	17 8.8	46 23.8	50 25.9	44 22.8	23 11.9	7 3.6	6 3.1

問6 貴事業所の建物の延べ床面積(事業所全体)は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
	全体	1000㎡未満	1000㎡～4999㎡	5000㎡～9999㎡	10000㎡～19999㎡	20000㎡～49999㎡	50000㎡～99999㎡	100000㎡以上	無回答	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)										
全体	193 100.0	13 6.7	45 23.3	26 13.5	28 14.5	18 9.3	20 10.4	21 10.9	13 6.7	9 4.7

2. 貴事務所におけるエネルギーの使用状況について、おたずねします。

図7 貴事務所の事業活動に伴い使用した、平成27年度(2015年度)のエネルギー使用量を記入して下さい。(それぞれ数字を記入)

【①電気】		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	全体	平均 (KWh)
全体	1 0 0 0 k w h 以下	1 0 0 0 k w h	1 0 0 1 5 0 0 0 k w h	5 0 0 1 5 0 0 0 k w h	1 0 0 1 5 0 0 0 k w h	5 0 0 1 5 0 0 0 k w h	1 0 0 1 5 0 0 0 k w h	5 0 0 1 5 0 0 0 k w h	1 0 0 1 5 0 0 0 k w h	h 5 0 0 0 0 0 0 0 k w h	1 0 0 0 0 0 0 0 1 k w h 以上		
全体	100.0	-	7 4.7	6 4.0	33 22.0	21 14.0	41 27.3	12 8.0	25 16.7	3 2.0	2 1.3	100.0	

【表の見方】
上段=回答数(人)
下段=比率(%)

【②都市ガス】		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	全体	平均 (㎡)
全体	1 0 0 0 ㎡ 以下	1 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 3 0 0 0 ㎡	3 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	5 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	5 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 5 0 0 0 ㎡ 以上		
全体	100.0	4 17.4	1 4.3	4 17.4	-	3 13.0	6 26.1	3 13.0	2 8.7	23	55,743

【表の見方】
上段=回答数(人)
下段=比率(%)

【③液化石油ガス(LPG・プロパンガス)】		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	全体	平均 (㎡)
全体	1 0 0 0 ㎡ 以下	1 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 3 0 0 0 ㎡	3 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	5 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	5 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 5 0 0 0 ㎡	1 0 0 1 5 0 0 0 ㎡ 以上		
全体	100.0	16 27.1	10 16.9	9 15.3	4 6.8	6 10.2	10 16.9	2 3.4	2 3.4	59	31,647

【表の見方】
上段=回答数(人)
下段=比率(%)

【④ガソリン(自動車用を除く)】		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	全体	平均 (リットル)
全体	1 0 0 0 ℓ 以下	1 0 0 0 ℓ	1 0 0 1 3 0 0 0 ℓ	3 0 0 1 5 0 0 0 ℓ	5 0 0 1 5 0 0 0 ℓ	1 0 0 1 5 0 0 0 ℓ	5 0 0 1 5 0 0 0 ℓ	1 0 0 1 5 0 0 0 ℓ	1 0 0 1 5 0 0 0 ℓ 以上		
全体	100.0	4 18.2	2 9.1	2 9.1	1 4.5	2 9.1	10 45.5	-	1 4.5	22	28,622

【表の見方】
上段=回答数(人)
下段=比率(%)

2. 貴事務所におけるエネルギーの使用状況について、おたずねします。

図7 貴事業所の事業活動に伴い使用した、平成27年度(2015年度)のエネルギー使用量を記入して下さい。(それぞれ数字を記入)

【⑤軽油(自動車用を除く)】

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
全体	1 0 0 2 以下	1 0 1 5 1 0 0 0 2	1 0 0 1 5 3 0 0 2	3 0 0 1 5 5 0 0 2	5 0 0 1 5 1 0 0 2	1 0 0 0 1 5 5 0 0 2	5 0 0 0 1 5 5 0 0 2	1 0 0 0 1 1 5 1 0 0 2
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)								
全体	18 100.0	2 11.1	2 11.1	3 16.7	5 27.8	4 22.2	1 5.6	1 5.6

全体	平均 (リットル)
18 100.0	21,819

【⑥灯油】

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
全体	1 0 0 2 以下	1 0 1 5 1 0 0 0 2	1 0 0 1 5 3 0 0 2	3 0 0 1 5 5 0 0 2	5 0 0 1 5 1 0 0 2	1 0 0 0 1 5 5 0 0 2	5 0 0 0 1 5 5 0 0 2	1 0 0 0 1 1 5 1 0 0 2
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)								
全体	34 100.0	9 26.5	7 20.6	11 32.4	1 2.9	1 2.9	3 8.8	2 5.9

全体	平均 (リットル)
34 100.0	6,804

【⑦重油】

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
全体	1 0 0 2 以下	1 0 1 5 1 0 0 0 2	1 0 0 1 5 3 0 0 2	3 0 0 1 5 5 0 0 2	5 0 0 1 5 1 0 0 2	1 0 0 0 1 5 5 0 0 2	5 0 0 0 1 5 5 0 0 2	1 0 0 0 1 1 5 1 0 0 2
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)								
全体	28 100.0	1 3.6	1 3.6	3 10.7	9 32.1	6 21.4	8 28.6	

全体	平均 (リットル)
28 100.0	167,449

2. 貴事業所におけるエネルギーの使用状況について、おたずねします。

問8 貴事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量(CO2のみでも可)、光熱水費の把握状況についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	無回答
		定期的 に記録し 改善目標を 設定	記録 のみ	記録 してい ない	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)					
① エネルギー使用量	193 100.0	39 20.2	70 36.3	70 36.3	14 7.3
② 温室効果ガス排出量	193 100.0	13 6.7	23 11.9	138 71.5	19 9.8
③ 光熱水費	193 100.0	39 20.2	93 48.2	49 25.4	12 6.2

問9 貴事業所で消費するエネルギー(電力・ガス・灯油、自動車のガソリン等)の使用量は、ここ数年間で、増えていますか。それとも減っていますか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		増え ている	減 って いる	あ ま り 変 化 は な い	分 か ら な い	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)						
全体	193 100.0	26 13.5	69 35.8	83 43.0	10 5.2	5 2.6

問9.1 また、「1 増えている」と回答された場合は、エネルギー使用量が変化した主な理由を下表の1～7の中から1つ選んでお答えください。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答
		社 員 数 が 変 わ っ た た め	事 業 内 容 が 変 わ っ た た め	生 産 量 の 変 動 な ど 事 業 活 動 の 量 が 変 わ っ た た め	機 器 等 を 新 た に 購 入 、 機 器 や 設 備 を 更 新 し た た め	省 エ ネ ル ギ ー 活 動 に 取 り 組 ん で い る (い な い)	変 化 し た 理 由 は わ か ら な い	そ の 他	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)									
全体	26 100.0	10 38.5	2 7.7	6 23.1	5 19.2	-	-	3 11.5	-

問9.2 また、「2 減っている」と回答された場合は、エネルギー使用量が変化した主な理由を下表の1～7の中から1つ選んでお答えください。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答
		社 員 数 が 変 わ っ た た め	事 業 内 容 が 変 わ っ た た め	生 産 量 の 変 動 な ど 事 業 活 動 の 量 が 変 わ っ た た め	機 器 等 を 新 た に 購 入 、 機 器 や 設 備 を 更 新 し た た め	省 エ ネ ル ギ ー 活 動 に 取 り 組 ん で い る (い な い)	変 化 し た 理 由 は わ か ら な い	そ の 他	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)									
全体	69 100.0	3 4.3	3 4.3	4 5.8	23 33.3	30 43.5	-	4 5.8	2 2.9

3. 貴事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況について、おたずねします。

図10 貴事業所では、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	無回答
		既に導入している	今後、導入する予定	導入予定はないが興味あり	導入の予定なし	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)						
① 太陽光発電設備(太陽光パネル等)	193 100.0	28 14.5	5 2.6	37 19.2	117 60.6	6 3.1
② 太陽熱温水器(太陽熱利用システム等)	193 100.0	1 0.5	4 2.1	32 16.6	149 77.2	7 3.6
③ バイオマス発電設備	193 100.0	1 0.5	-	21 10.9	164 85.0	7 3.6
④ 小水力発電	193 100.0	-	1 0.5	17 8.8	168 87.0	7 3.6
⑤ コージェネレーション設備(ガスタービン等)	193 100.0	4 2.1	1 0.5	19 9.8	158 81.9	11 5.7
⑥ 省エネ型の冷暖房機(高効率の空調設備等)	193 100.0	54 28.0	30 15.5	46 23.8	56 29.0	7 3.6
⑦ 省エネ型のオフィス機器(パソコン、複合機等)	193 100.0	62 32.1	20 10.4	56 29.0	48 24.9	7 3.6
⑧ 高効率照明(LED照明等)	193 100.0	99 51.3	37 19.2	30 15.5	24 12.4	3 1.6
⑨ 高効率給湯器(エコキュート等)	193 100.0	17 8.8	12 6.2	42 21.8	116 60.1	6 3.1
⑩ 省エネ型の業務用冷蔵・冷凍庫	193 100.0	24 12.4	22 11.4	39 20.2	101 52.3	7 3.6
⑪ 建物の断熱対策(複層ガラス等)	193 100.0	25 13.0	9 4.7	55 28.5	100 51.8	4 2.1
⑫ 屋上・壁面の緑化(緑のカーテン等)	193 100.0	12 6.2	4 2.1	41 21.2	130 67.4	6 3.1
⑬ デマンド監視装置 ※注1)	193 100.0	46 23.8	5 2.6	32 16.6	104 53.9	6 3.1
⑭ エネルギー監視システム(BEMS) ※注2)	193 100.0	8 4.1	7 3.6	46 23.8	126 65.3	6 3.1
⑮ 電気自動車(EV)の購入	193 100.0	4 2.1	5 2.6	60 31.1	118 61.1	6 3.1
⑯ ハイブリッド車(HV・PHV)の購入	193 100.0	74 38.3	7 3.6	43 22.3	64 33.2	5 2.6
⑰ アイドリングストップ装置の設置	193 100.0	33 17.1	10 5.2	52 26.9	90 46.6	8 4.1

図10.1 また、「導入の予定なし」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～7の中から1つ選んで、番号を記入して下さい。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答
		費用負担が大きい	効果に疑問がある	設置場所の条件を満たさない	設備等に関する情報が無い	必要性を感じない	業務に不要	その他	
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)									
① 太陽光発電設備(太陽光パネル等)	117 100.0	36 30.8	5 4.3	21 17.9	3 2.6	12 10.3	20 17.1	10 8.5	10 8.5
② 太陽熱温水器(太陽熱利用システム等)	149 100.0	35 23.5	4 2.7	14 9.4	5 3.4	30 20.1	33 22.1	14 9.4	14 9.4
③ バイオマス発電設備	164 100.0	30 18.3	4 2.4	15 9.1	16 9.8	31 18.9	37 22.6	16 9.8	15 9.1
④ 小水力発電	168 100.0	28 16.7	4 2.4	20 11.9	12 7.1	32 19.0	41 24.4	17 10.1	14 8.3
⑤ コージェネレーション設備(ガスタービン等)	158 100.0	30 19.0	2 1.3	18 11.4	10 6.3	29 18.4	39 24.7	17 10.8	13 8.2
⑥ 省エネ型の冷暖房機(高効率の空調設備等)	56 100.0	15 26.8	3 5.4	3 5.4	4 7.1	7 12.5	6 10.7	13 23.2	5 8.9
⑦ 省エネ型のオフィス機器(パソコン、複合機等)	48 100.0	14 29.2	4 8.3	1 2.1	5 10.4	7 14.6	6 12.5	7 14.6	4 8.3
⑧ 高効率照明(LED照明等)	24 100.0	7 29.2	2 8.3	2 8.3	2 4.2	1 4.2	2 8.3	6 25.0	3 12.5
⑨ 高効率給湯器(エコキュート等)	116 100.0	16 13.8	2 1.7	9 7.8	9 7.8	24 20.7	35 30.2	11 9.5	10 8.6
⑩ 省エネ型の業務用冷蔵・冷凍庫	101 100.0	16 15.8	2 2.0	3 3.0	4 4.0	20 19.8	40 39.6	9 8.9	7 6.9
⑪ 建物の断熱対策(複層ガラス等)	100 100.0	29 29.0	3 3.0	7 7.0	6 6.0	16 16.0	13 13.0	17 17.0	9 9.0
⑫ 屋上・壁面の緑化(緑のカーテン等)	130 100.0	19 14.6	9 6.9	24 18.5	6 4.6	26 20.0	13 10.0	20 15.4	13 10.0
⑬ デマンド監視装置 ※注1)	104 100.0	18 17.3	5 4.8	5 4.8	10 9.6	24 23.1	20 19.2	12 11.5	10 9.6
⑭ エネルギー監視システム(BEMS) ※注2)	126 100.0	31 24.6	5 4.0	7 5.6	10 7.9	27 21.4	21 16.7	14 11.1	11 8.7
⑮ 電気自動車(EV)の購入	118 100.0	43 36.4	4 3.4	2 1.7	4 3.4	19 16.1	22 18.6	13 11.0	11 9.3
⑯ ハイブリッド車(HV・PHV)の購入	64 100.0	20 31.3	1 1.6	1 1.6	2 3.1	11 17.2	19 29.7	6 9.4	4 6.3
⑰ アイドリングストップ装置の設置	90 100.0	25 27.8	4 4.4	2 2.2	4 4.4	17 18.9	20 22.2	11 12.2	7 7.8

3. 貴事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況について、おたずねします。

図11 今後、上記の省エネ設備や再生可能エネルギーを導入するためにはどのような支援が必要と思いますか。また、導入を促進するためには何が必要だと考えますか。(あてはまる番号に3つまで○)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
	全体	導入による効果やメリットなどの情報提供	専門家による省エネ診断制度や設備買い換え等の相談システム	導入資金の負担を軽減する補助金・助成金制度	導入資金への融資制度	導入設備等のリースやレンタル制度	その他
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体	193 100.0	120 62.2	55 28.5	145 75.1	26 13.5	43 22.3	4 2.1
							8 4.1

4. 貴事業所における省エネに関する取組状況について、おたずねします。

図12 貴事業所では、日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みはありますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。(あてはまる番号1つに○)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	全体	実施している	今後、実施する予定	実施予定はないが興味あり	実施の予定なし	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)						
① 設定温度の適正化(目安は冷房28℃、暖房20℃)	193 100.0	148 76.7	13 6.7	15 7.8	12 6.2	5 2.6
② ノーネクタイ等の服装の自由化(クールビズ、ウォームビズ)	193 100.0	166 86.0	2 1.0	4 2.1	19 9.8	2 1.0
③ 照明設備の運用管理(灯数、点灯時間、照度等)	193 100.0	130 67.4	11 5.7	33 17.1	14 7.3	5 2.6
④ 不要時のOA機器の主電源オフ	193 100.0	136 70.5	18 9.3	19 9.8	14 7.3	6 3.1
⑤ 給湯機器の適正管理(温度調整等)	193 100.0	97 50.3	12 6.2	20 10.4	54 28.0	10 5.2
⑥ 紙の使用量削減や再資源化	193 100.0	139 72.0	13 6.7	22 11.4	15 7.8	4 2.1
⑦ 温室効果ガスの排出抑制のための計画策定	193 100.0	26 13.5	15 7.8	70 36.3	75 38.9	7 3.6
⑧ 従業員を対象とした省エネや環境保全の研修	193 100.0	35 18.1	21 10.9	65 33.7	64 33.2	8 4.1
⑨ 環境マネジメントシステムの導入(ISO、エアアクション等)	193 100.0	32 16.6	7 3.6	59 30.6	84 43.5	11 5.7
⑩ 階段の使用の推奨	193 100.0	111 57.5	5 2.6	20 10.4	50 25.9	7 3.6
⑪ ノー残業デーの設定	193 100.0	68 35.2	11 5.7	50 25.9	60 31.1	4 2.1
⑫ 従業員のノーマイカー通勤制度の導入	193 100.0	16 8.3	7 3.6	38 19.7	125 64.8	7 3.6
⑬ 環境に配慮した事務機器や物品購入の推進	193 100.0	70 36.3	26 13.5	59 30.6	30 15.5	8 4.1
⑭ 環境省が推進するCOOLCHOICE(賢い選択)の呼びかけ	193 100.0	20 10.4	13 6.7	86 44.6	66 34.2	8 4.1
⑮ エコドライブの推進	193 100.0	77 39.9	16 8.3	55 28.5	37 19.2	8 4.1

図12.1 また、「実施の予定なし」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～6の中から1つ選んで、番号を記入して下さい。(あてはまる番号1つに○)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
	全体	人員・時間が確保できない	効果に疑問がある	設置場所の条件を満たさない	必要性を感じない	費用がかかる	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)								
① 設定温度の適正化(目安は冷房28℃、暖房20℃)	12 100.0	2 16.7	2 16.7	-	-	-	7 58.3	1 8.3
② ノーネクタイ等の服装の自由化(クールビズ、ウォームビズ)	19 100.0	2 10.5	1 5.3	1 5.3	6 31.6	-	9 47.4	-
③ 照明設備の運用管理(灯数、点灯時間、照度等)	14 100.0	4 28.6	2 14.3	-	5 35.7	-	2 14.3	1 7.1
④ 不要時のOA機器の主電源オフ	14 100.0	2 14.3	2 14.3	1 7.1	2 14.3	-	5 35.7	2 14.3
⑤ 給湯機器の適正管理(温度調整等)	54 100.0	3 5.6	3 5.6	4 7.4	21 38.9	1 1.9	17 31.5	5 9.3
⑥ 紙の使用量削減や再資源化	15 100.0	-	2 13.3	1 6.7	3 20.0	1 6.7	6 40.0	2 13.3
⑦ 温室効果ガスの排出抑制のための計画策定	75 100.0	17 22.7	4 5.3	1 1.3	17 22.7	2 2.7	24 32.0	10 13.3
⑧ 従業員を対象とした省エネや環境保全の研修	64 100.0	23 35.9	7 10.9	-	10 15.6	2 3.1	16 25.0	6 9.4
⑨ 環境マネジメントシステムの導入(ISO、エアアクション等)	84 100.0	13 15.5	8 9.5	-	24 28.6	9 10.7	20 23.8	10 11.9
⑩ 階段の使用の推奨	50 100.0	2 4.0	2 4.0	10 20.0	15 30.0	-	17 34.0	4 8.0
⑪ ノー残業デーの設定	60 100.0	9 15.0	6 10.0	3 5.0	19 31.7	-	15 25.0	8 13.3
⑫ 従業員のノーマイカー通勤制度の導入	125 100.0	12 9.6	10 8.0	10 8.0	23 18.4	3 2.4	58 46.4	9 7.2
⑬ 環境に配慮した事務機器や物品購入の推進	30 100.0	2 6.7	3 10.0	-	8 26.7	6 20.0	7 23.3	4 13.3
⑭ 環境省が推進するCOOLCHOICE(賢い選択)の呼びかけ	66 100.0	4 6.1	6 9.1	-	19 28.8	-	19 42.4	9 13.6
⑮ エコドライブの推進	37 100.0	3 8.1	2 5.4	-	10 27.0	-	17 45.9	5 13.5

5. 地球温暖化に対する意識について、おたずねします。

問13 地球温暖化問題について、どのくらい関心をお持ちですか。貴事業所の考えに最も近いものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
	全体	とても関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらかといえは関心がない	全く関心がない	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)							
全体	193 100.0	45 23.3	123 63.7	17 8.8	2 1.0	- -	6 3.1

問14 事業活動における地球温暖化防止の取り組みについて、貴事業所の考えに最も近いものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
	全体	事業者の社会的責任（CSR）の一つとして、取り組む必要がある	温暖化の影響は今後の業績に関連する要素であるため、取り組む必要がある	消費者からの好感度など会社のイメージ向上のため、取り組む必要がある	新たな事業活動の展開（ビジネス分野の開拓）のため、取り組む必要がある	本社へ親会社からの指示、同業者間の取り決めのため、取り組む必要がある	法令で要求されているので、取り組まざるを得ない	必要ではあるが、資金を投入してまで取り組む必要はない	特に取り組む必要はない	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)											
全体	193 100.0	113 58.5	20 10.4	10 5.2	5 2.6	10 5.2	3 1.6	22 11.4	1 0.5	5 2.6	4 2.1

問15 貴事業所では、地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
	全体	テレビ・ラジオ	新聞	雑誌・書籍	インターネット	業界・同業種での会合や会報	講演・研修	行政の広報	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)										
全体	193 100.0	128 66.3	123 63.7	40 20.7	104 53.9	47 24.4	26 13.5	57 29.5	5 2.6	2 1.0

6. 温室効果ガスの排出に対する意識について、おたずねします。

図16 我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)		(2)	
		知っていた	知らなかった	無回答	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)					
全体	193 100.0	158 81.9	32 16.6	3 1.6	

図17 温室効果ガス削減目標について、我が国は2030年度までに2013年度比で26%削減、2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)		(2)	
		知っていた	知らなかった	無回答	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)					
全体	193 100.0	87 45.1	103 53.4	3 1.6	

図18 業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030年度において2013年度比39.7%減の水準にすることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)		(2)	
		知っていた	知らなかった	無回答	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)					
全体	193 100.0	42 21.8	149 77.2	2 1.0	

図19 国や愛媛県では、エネルギー使用量やエネルギー消費機器、機器毎の使用傾向などを調査・分析し、分析結果に基づき具体的な省エネルギー手法およびエネルギー、CO2、光熱水費の削減効果など提案が受けられる「無料省エネ診断」を実施していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)		(2)	
		知っていた	知らなかった	無回答	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)					
全体	193 100.0	30 15.5	161 83.4	2 1.0	

6. 温室効果ガスの排出に対する意識について、おたずねします。

図20 「無料省エネ診断」を実施したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1) 既に省エネ診断を実施した	(2) 省エネ診断を予定している	(3) 省エネ診断を希望する	(4) 省エネ診断についての情報を得たうえで、検討したい	(5) 省エネ診断を希望しない	(6) その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)								
全体	193 100.0	11 5.7	2 1.0	6 3.1	98 50.8	67 34.7	3 1.6	6 3.1

7. 環境保全資金融資の利用状況についておたずねします。

図21 愛媛県では、中小企業者や中小企業団体を対象として、環境保全に関する資金を低利で融資していますが、制度のことをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)		(2)	無回答
		知っている	知らなかった	無回答	
全体	193 100.0	35 18.1	154 79.8	4 2.1	

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

図22 愛媛県の環境保全資金を利用したことがありますか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	無回答
		現在、利用している	以前、利用したことがある	これまで利用したことはない	
全体	193 100.0	-	2 1.0	187 96.9	4 2.1

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

図22で「3 これまで利用したことはない」と答えた人にお聞きします。

図23 今後、利用したいと思いませんか。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	無回答
		利用したい	条件が含まれば、利用したい	利用したいと思わない	
全体	187 100.0	-	73 39.0	112 59.9	2 1.1

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

図23.1 また、「3 利用したいと思わない」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～7の中から1つ選んでお答えください。(あてはまる番号1つに○)

	全体	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	無回答
		融資の対象外のため	貸付限度額の設定額では足りないため	貸付利率が高いため	貸付期間が短いため	借り入れてまで事業する必要はないため	特に理由はない	その他	
全体	112 100.0	19 17.0	2 1.8	12 10.7	-	27 24.1	28 25.0	14 12.5	10 8.9

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

8. これからの地球温暖化防止対策について、おたずねします。

問24 地球温暖化防止対策として、愛媛県ではこれからのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から、特に重点を置くべきと貴事業所が思うものは次のうちどちらですか。（あてはまる番号3つまで）

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)		
	全体	公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入	県民、企業に対する自然エネルギー普及の積極的なPR	省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付	住宅の普及促進	断熱や夏の日射遮蔽など省エネ性能の高い省エネルギー先進地球温暖化に関する県民向けの情報提供や広報活動の推進	学校や地域などで地球温暖化や省エネの方法に関する環境教育・環境学習の充実	県民、団体などが行う地球温暖化防止活動への支援	自転車で行やすい環境の整備	ら（転換）	鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上（自動車からの転換）	二酸化炭素を吸収する森林の管理と育成の促進	市街地の緑化の促進	ごみの減量化やリサイクルの推進	次世代自動車（電気自動車・燃料電池自動車・プラグインハイブリッド自動車）の普及促進	バイオマスの利活用促進	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)																	
全体	193 100.0	77 39.9	35 18.1	80 41.5	27 14.0	25 13.0	41 21.2	12 6.2	25 13.0	54 28.0	29 15.0	25 13.0	42 21.8	36 18.7	4 2.1	3 1.6	2 1.0

問25 貴事業所において、地球温暖化防止に向けて独自に取り組んでいることがあれば記入してください。また、事業所における地球温暖化防止対策について、愛媛県に対し、ご提案、ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

- ISO14001の取得
- 当事業所では、現在太陽光発電事業を行っている。規模は1.43メガ。当ゴルフ倶楽部では、松の育成・管理に年間1000万円以上を費やしている。元来、ゴルフ場は「樹木や芝生の育成・管理を行う事業であり、地球温暖化防止事業そのものである。」という重要な事業を行っているゴルフ場に対して、固定資産税を減免する行政措置をお願いしたい。
- 具体的にはないが、クールビズ・ウォームビズ等個人で温暖化防止に少しでも役立つものについては各従業員に意識を持ってもらっている。
- 県毎の排出量が不明な為、重点施策に上げるべきか疑問。愛媛県で進めた場合、（排出量分を日本が買い、一方売っている国もある）県内でも東予の工業地帯と他は条件が異なる。
- 日ごろより3Rについての話を朝礼等で行う。
- グリーンカーテンの敷設・ノー残業デーの実施・営業職のノーネクタイ（5月～10月）・総務部門と訪問看護部門のポロシャツ着用（5月～10月）
- 補助金は出なかったけど、空調設備（エアコン）を6機購入。工場内照明器具（蛍光灯）130本購入した。
- 次世代自動車の普及促進のため、電気自動車を購入し、地域に対しても推進している所です。また、そのための電気スタンドの設置を検討しているところですが。
- 当初の事業内容が森林整備であり、事業を行うことが地球温暖化防止に役立っていると考えている。ここ数年未愛媛県では森林整備に関する予算は削減されてきており、本数調整後に代表される治山事業だけに言い及ぶ最も事業量が多かった時期の1/10程度の発注量になっており、林業課の職員採用減との関連もあり、今後どうするか？考えを聞きたいところである。
- 障がいを抱えた人が生活しているため、冷暖房の使用を抑えるにも限界がある。省エネルギータイプの機器への更新など可能なことは実施している。
- LED照明に変更していく予定です。
- 節電している。
- 会社としては、最終的に良いか悪いかより、損か得かを優先して決断する事が多いです。照明をLEDに変えたり、省エネ仕様のものに変えた時も、補助金対象ということで最終決断を行いました。やはり営利企業においては、悲しいかな、会社内利益を優先に考えてしまいます。
- 企業は可処分所得の内設備投資額を決める。環境設備は、費用はかかるが効果（売上げ）に直結することは、まず難しい為、資金に余裕が無ければ投資できない。一般的な補助や助成ではなく、県内企業が積極的に設備投資できる環境づくりをお願いしたい。仮に環境設備導入が義務化されても、零細企業は無い袖は振れません。
- 取り組んでいること・照明設備のLED化・照明設備のこまめな消灯
- 補助金を充実していただきたい
- 現在、冷暖房の温度の適正化・高効率照明(LED)への切り替えや太陽光発電等に取り組んでおります。今後も継続して地球温暖化対策に取り組んでいきたいと思っております。
- グリーンカーテン・集中モコンによるエアコン停止スケジュール・事務室LED
- バイオディーゼルの事業を行い、廃食用油のリサイクルを進めています。
- 社内で回収できるチラシ（啓蒙用）頂けるものがあれば活用させて頂きたいと思っております。節電や温水はなるべく使わないようにしようという意識の高低は個人差が大きく、日常は通常業務に追われる為温暖化教育まで手が回っていません。ですので気軽に取り組みるところからのスタートになります。
- CO2排出量削減のため、空調設備の電化・給湯設備向けエネルギー源の転換（A重油→LPG）、LED照明器具への更新を進めている。
- 地球温暖化防止対策について、例えば買い替え時期に積極的に省エネ型に交換していくとか、取り組める事（できる事）から具体的に指導して欲しい。
- ISO14001取得しています。こういうアンケート（紙）は温暖化の原因です。やめて下さい。ネット回答のみにすべきです。
- 新しく施設を建て替えるにあたり、太陽光パネルを設置した。
- 生鮮食品を扱っていますので、日々商品の廃棄が出来ないように、極力売り切るようにしています。また、一部売場では電気(LED)化やソーラー発電の導入など、少しでも節電の役に立てばと思います。
- 公共交通網の整備・充実。
- 独自で弊社で取り組んでいることは特にないです。自分達のお店は、イオンモール新居浜というデベロッパーの中に入っているため、まずはデベロッパーのルールをしっかりと守り、積極的に取り組みに参加しようと思っております。
- ISO14001取得しています。
- 当社グループはすべての事業活動で発生するエネルギー使用量（電気・軽油・ガソリン等）を把握するとともに、環境マネジメントシステムを活用し低減すべく取り組んでいます。
- 小さい事業所なので、省エネ機器などの導入は考えていませんが、冷暖房の設定温度やPCの電源OFF、用紙の裏紙を使用するなど小さなエコは実施しております。

調査票

各位

事務所等における温暖化対策実態調査に関する

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃から、愛媛県の環境行政にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、愛媛県では、県内の民生業務部門（事務所・店舗等）における温室効果ガス排出量が急増している中、事務所等のエネルギー使用状況や省エネ設備・再生可能エネルギーの導入状況、省エネ行動の取組状況など温暖化対策の実態を把握し、今後、実効性のある温室効果ガス排出削減対策の推進に資することを目的として、業種、規模等をもとに500社を選定してアンケート調査を実施することとしました。

事業者の皆様には、この趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年7月

調査実施主体 愛媛県 県民環境部 環境局 環境政策課
調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所

＜注意事項＞

1. アンケートには、送付させて頂いた先の事業所のことについて、なるべくエネルギー担当者の方がお答えください。
2. 事業所単位の回答が困難な場合には、事業者としてお答えください。
3. 差し支えなければ事業所名、担当者名、連絡先（記入欄は調査票の8頁）をご記入ください。記載内容等確認のため、後日こちらから連絡させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
4. アンケート調査票に直接記入して頂き、同封の返信用封筒（切手は不要です）に封入の上、

7月25日（月）までにご投函ください。

このアンケート調査に関するお問い合わせ先

（調査実施機関）株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所 担当：鎌田・三村
電 話 087-851-9766（直通）
FAX 087-821-0933
【受付日時】 月～金曜（土・日・祝日は休み）、9～17時（12～13時は除く）



未来の
ために、
いま選ぼう。

1. 貴事業所の業務形態等について、おたずねします。

問1 貴事業所の所在地は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 東予地方 (今治市・新居浜市・西条市・四国中央市・上島町)
- 2 中予地方 (松山市・伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町)
- 3 南予地方 (宇和島市・八幡浜市・大洲市・西予市・内子町・伊方町・松野町・鬼北町・愛南町)

問2 貴事業所の業種は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 情報通信業
- 2 卸売業、小売業
- 3 金融業、保険業
- 4 不動産業、物品賃貸業
- 5 学術研究、専門・技術サービス業
- 6 宿泊業、飲食サービス業
- 7 生活関連サービス業、娯楽業
- 8 教育、学習支援業
- 9 医療、福祉
- 10 その他 (_____)

問3 貴事業所の従業員数は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 10～19人
- 2 20～29人
- 3 30～49人
- 4 50～99人
- 5 100～199人
- 6 200～299人
- 7 300人以上

問4 貴事業所の建物の所有形態は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 自己所有
- 2 賃貸 (独立した建物)
- 3 賃貸 (共同利用のビル等入居)
- 4 個人事務所 (自宅兼等)
- 5 その他 (_____)

問5 貴事業所の建物の築年数は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 10年未満
- 2 10～19年
- 3 20～29年
- 4 30～39年
- 5 40～49年
- 6 50年以上

問6 貴事業所の建物の延べ床面積 (事業所全体) は、次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 100 m²未満
- 2 100～499 m²
- 3 500～999 m²
- 4 1,000～1,999 m²
- 5 2,000～2,999 m²
- 6 3,000～4,999 m²
- 7 5,000～10,000 m²
- 8 10,000 m²以上

2. 貴事業所におけるエネルギーの使用状況について、おたずねします。

問7 貴事業所の事業活動に伴い使用した、平成27年度（2015年度）のエネルギー使用量を記入して下さい。（それぞれ数字を記入）

項目		使用量（平成_____年度）	
	記入例（電気）	525,000	kWh
エネルギー使用量	① 電気		kWh
	② 都市ガス		m ³
	③ 液化石油ガス（LPG・プロパンガス）		m ³
	④ ガソリン（自動車用を除く）		リットル
	⑤ 軽油（自動車用を除く）		リットル
	⑥ 灯油		リットル
	⑦ 重油		リットル
	⑧ その他（_____）		リットル

※正確な量が把握できない場合は、概算の数字でも構いません。

※「③液化石油ガス」について、単位「t」から「m³」に変換する場合には、500倍（0.5×1,000）で計算して下さい。

※平成27年度（2015年度）の集計が難しい場合は、平成26年度（2014年度）のエネルギー使用量を記入して下さい。

問8 貴事業所におけるエネルギー使用量、温室効果ガス排出量（CO₂のみでも可）、光熱水費の把握状況についてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

項目	定期的に記録し改善目標を設定	記録のみ	記録していない
① エネルギー使用量	1	2	3
② 温室効果ガス排出量	1	2	3
③ 光熱水費	1	2	3

問9 貴事業所で消費するエネルギー（電力・ガス・灯油、自動車のガソリン等）の使用量は、ここ数年間で、増えていますか。それとも減っていますか。（あてはまる番号1つに○）

また、「1 増えている」または「2 減っている」と回答された場合は、エネルギー使用量が変化した主な理由を下表の1～7の中から1つ選んでお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1 増えている	2 減っている	3 あまり変化はない	4 分からない
---------	---------	------------	---------

1 社員数が変わったため 2 事業内容が変わったため 3 生産量の変動など事業活動の量が変わったため 4 エネルギーを使用する機器や設備(事業用生産機器等)を新たに購入、更新したため 5 省エネルギー活動に取り組んでいる(いない)ため 6 変化した理由はわからない 7 その他(_____)

3. 貴事業所における省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況について、おたずねします。

問10 貴事業所では、省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

また、「導入の予定なし」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～7の中から1つ選んで、番号を記入して下さい。

項目名	既に導入している	今後、導入する予定	導入予定はないが興味あり	導入の予定なし	理由
(記入例)	1	2	③	4	2
① 太陽光発電設備(太陽光パネル等)	1	2	3	4	
② 太陽熱温水器(太陽熱利用システム等)	1	2	3	4	
③ バイオマス発電設備	1	2	3	4	
④ 小水力発電	1	2	3	4	
⑤ コージェネレーション設備(ガスタービン等)	1	2	3	4	
⑥ 省エネ型の冷暖房機(高効率の空調設備等)	1	2	3	4	
⑦ 省エネ型のオフィス機器(パソコン、複合機等)	1	2	3	4	
⑧ 高効率照明(LED照明等)	1	2	3	4	
⑨ 高効率給湯器(エコキュート等)	1	2	3	4	
⑩ 省エネ型の業務用冷蔵・冷凍庫	1	2	3	4	
⑪ 建物の断熱対策(複層ガラス等)	1	2	3	4	
⑫ 屋上・壁面の緑化(緑のカーテン等)	1	2	3	4	
⑬ デマンド監視装置 ※注1)	1	2	3	4	
⑭ エネルギー監視システム(BEMS) ※注2)	1	2	3	4	
⑮ 電気自動車(EV)の購入	1	2	3	4	
⑯ ハイブリッド車(HV・PHV)の購入	1	2	3	4	
⑰ アイドリングストップ装置の設置	1	2	3	4	

- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| 1 費用負担が大きい | 2 効果に疑問がある | 3 設置場所の条件を満たさない |
| 4 設備等に関する情報がない | 5 必要性を感じない | 6 業務に不要 |
| 7 その他 | | |

※注1) 電気の基本料金を決定する最大需要電力(デマンド値:30分単位での平均使用電力(kW)の最大値)を計測し、需要電力が予め設定した目標値に近付くと警告を発したり、電力消費機器の出力を下げることでデマンド値の発生を防止する装置。

※注2) ビルのエネルギー管理システムの意味で、ビル内に設置した電力・温度・照度など複数のセンサーの情報を基に電力使用状況の可視化および空調・照明などの機器の制御による省エネルギー化を行う装置。

問11 今後、上記の省エネ設備や再生可能エネルギーを導入するためにはどのような支援が必要と思いますか。また、導入を促進するためには何が重要だと考えますか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 導入による効果やメリットなどの情報提供 |
| 2 専門家による省エネ診断制度や設備買い換え等の相談システム |
| 3 導入資金の負担を軽減する補助金・助成金制度 |
| 4 導入資金への融資制度 |
| 5 導入設備等のリースやレンタル制度 |
| 6 その他 () |

4. 貴事業所における省エネに関する取組状況について、おたずねします。

問12 貴事業所では、日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みはありますか。それぞれの項目について、**あてはまる番号1つに○**を付けて下さい。

また、「実施の予定なし」と回答された場合は、その主な理由を下表の1～6の中から1つ選んで、**番号を記入**して下さい。

取組内容	実施している	今後、実施する予定	実施予定はないが興味あり	実施の予定なし	理由
(記入例)	1	②	3	4	3
① 設定温度の適正化(目安は冷房 28℃、暖房 20℃)	1	2	3	4	
② ノーネクタイ等の服装の自由化(クールビズ、ウォームビズ)	1	2	3	4	
③ 照明設備の運用管理(灯数、点灯時間、照度等)	1	2	3	4	
④ 不要時の OA 機器の主電源オフ	1	2	3	4	
⑤ 給湯機器の適正管理(温度調整等)	1	2	3	4	
⑥ 紙の使用量削減や再資源化	1	2	3	4	
⑦ 温室効果ガスの排出抑制のための計画策定	1	2	3	4	
⑧ 従業員を対象とした省エネや環境保全の研修	1	2	3	4	
⑨ 環境マネジメントシステムの導入(ISO、エコアクション等)	1	2	3	4	
⑩ 階段の使用の推奨	1	2	3	4	
⑪ ノー残業デーの設定	1	2	3	4	
⑫ 従業員のノーマイカー通勤制度の導入	1	2	3	4	
⑬ 環境に配慮した事務機器や物品購入の推進	1	2	3	4	
⑭ 環境省が推進する COOLCHOICE(賢い選択)の呼びかけ	1	2	3	4	
⑮ エコドライブの推進	1	2	3	4	

- 1 人員・時間が確保できない 2 効果に疑問がある 3 設置場所の条件を満たさない
4 必要性を感じない 5 費用がかかる 6 その他

5. 地球温暖化に対する意識について、おたずねします。

問13 地球温暖化問題について、どのくらい関心をお持ちですか。貴事業所の考えに最も近いものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 とても関心がある 2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない 4 全く関心がない
5 その他 ()

問14 事業活動における地球温暖化防止の取り組みについて、貴事業所の考えに最も近いものは次のうちどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

- 1 事業者の社会的責任(CSR)の一つとして、取り組む必要がある
2 温暖化の影響は今後の業績に関連する要素であるため、取り組む必要がある
3 消費者からの好感度など会社のイメージ向上のため、取り組む必要がある
4 新たな事業活動の展開(ビジネス分野の開拓)のため、取り組む必要がある
5 本社(親会社)からの指示、同業者間の取り決めのため、取り組む必要がある
6 法令で要求されているので、取り組まざるを得ない
7 必要ではあるが、資金を投入してまで取り組む必要はない
8 特に取り組む必要はない
9 その他 ()

問15 貴事業所では、地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-----------|-----------------|---------|
| 1 テレビ・ラジオ | 2 新聞 | 3 雑誌・書籍 |
| 4 インターネット | 5 業界・同業種での会合や会報 | 6 講演・研修 |
| 7 行政の広報 | 8 その他 (_____) | |

6. 温室効果ガスの排出に対する意識について、おたずねします。

問16 我が国の温室効果ガス排出量が長期的に見て増加していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

※2014年度のCO2排出量は1990年度の排出量と比べて、7.3%の増加。
【資料:環境省 2014年度の温室効果ガス排出量(確報値)概要】

問17 温室効果ガス削減目標について、我が国は2030年度までに2013年度比で26%削減、2050年までに現状から80%以上の削減を目指していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

問18 業務部門におけるエネルギー起源二酸化炭素の削減目標については、2030年度において2013年度比39.7%減の水準にすることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

※2013年度の排出量実績 279 百万t-CO2 2030年度の排出量の目安 168 百万t-CO2
【資料:国の地球温暖化対策計画(平成28年5月策定)】

問19 国や愛媛県では、エネルギー使用量やエネルギー消費機器、機器毎の使用傾向などを調査・分析し、分析結果に基づき具体的な省エネルギー手法およびエネルギー、CO2、光熱水費の削減効果などの提案が受けられる「無料省エネ診断」を実施していることをご存知ですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|----------|
| 1 知っていた | 2 知らなかった |
|---------|----------|

※無料の省エネ診断は、(財)省エネルギーセンターや愛媛県中小企業団体中央会(愛媛県委託)が実施。

問20 「無料省エネ診断」を実施したいと思いますか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1 既に省エネ診断を実施した |
| 2 省エネ診断を予定している |
| 3 省エネ診断を希望する |
| 4 省エネ診断についての情報を得たうえで、検討したい |
| 5 省エネ診断を希望しない |
| 6 その他 (_____) |

8. これからの地球温暖化防止対策について、おたずねします。

問24 地球温暖化防止対策として、愛媛県ではこれからどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から、特に重点を置くべきと貴事業所が思うものは次のうちどちらですか。（あてはまる番号3つまで○）

- 1 公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入
- 2 県民、企業に対する自然エネルギー普及の積極的なPR
- 3 省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付
- 4 断熱や夏の日射遮蔽など省エネ性能の高い省エネルギー住宅の普及促進
- 5 地球温暖化に関する県民向けの情報提供や広報活動の推進
- 6 学校や地域などで地球温暖化や省エネの方法に関する環境教育・環境学習の充実
- 7 県民、団体などが行う地球温暖化防止活動への支援
- 8 自転車で走りやすい環境の整備
- 9 鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上（自動車からの転換）
- 10 二酸化炭素を吸収する森林の管理と育成の促進
- 11 市街地の緑化の促進
- 12 ごみの減量化やリサイクルの推進
- 13 次世代自動車（電気自動車・燃料電池自動車・プラグインハイブリット自動車）の普及促進
- 14 バイオマスの利活用促進
- 15 その他（_____）

問25 貴事業所において、地球温暖化防止に向けて独自に取り組んでいることがあれば記入してください。また、事業所における地球温暖化防止対策について、愛媛県に対し、ご提案、ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

※優良な取組事例については県ホームページでご紹介させていただきたいと考えています。

最後に、差し支えなければ貴事業所名、連絡先、ご担当者名をご記入ください。記載内容等確認のため、後日こちらから連絡させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

事業所名：_____

電話番号：_____

担当者名：_____

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。